



市の花「チューリップ」

にいがた市議会だより

新しい「目」で、
新しい「心」で、
新しい「新潟市」



第79号

発行:新潟市議会 編集:新潟市議会広報委員会 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 ☎025-226-3385

平成29年(2017年)11月5日
(年4回発行)

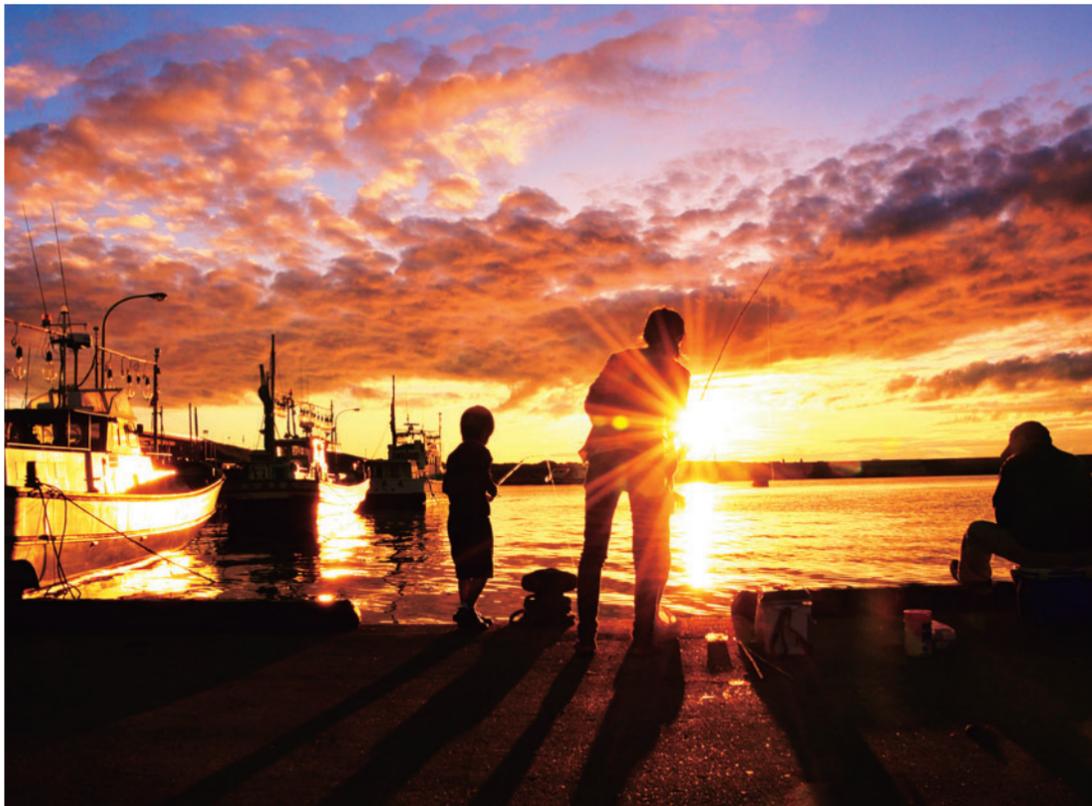
9月定例会

平成29年度一般会計補正予算など 27議案を議決

▼平成29年9月定例会は、9月12日から10月3日までの22日間の会期で開かれました。

▼民間保育士等への追加的処遇改善などを含む20億8442万7千円の平成29年度一般会計補正予算を可決し、補正後の総額は40億8598万7千円となりました。

▼平成28年度一般会計および特別会計決算の認定に関する議案が追加提案され、決算特別委員会を設置の上、閉会中に継続して審査することとしました。(決算特別委員会の概要は5面に掲載)



新川漁港(西区)の「夕釣り」 写真は第25回日本夕日写真大賞「大賞」作品。

議会報告会を傍聴しませんか

市議会では、身近で開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

今回は、市内の小・中学校および高校のPTAの皆さまと、第1部では「議会の仕組み・流れおよび9月定例会の審議概要」について議会報告を行い、第2部では「子ども・子育て・教育」をテーマにワークショップ形式で意見交換を行い、その内容について発表を行います。

傍聴もできますので、直接会場にお越しください。多数の皆さまのお越しをお待ちしております。

開催区	日時・会場	意見交換を行うPTA
中央区	11月21日(火) 午後6時30分～午後8時 白新中学校 2階 第1会議室	鏡淵小学校 白山小学校 白新中学校
秋葉区	11月21日(火) 午後6時30分～午後8時20分 新津地区公民館 3階 研修室305	秋葉区内の小・中学校
北区	11月22日(水) 午後7時～午後8時30分 南浜連絡所 2階 ホール	南浜小学校 太夫浜小学校 南浜中学校
南区	11月22日(水) 午後7時～午後8時50分 白根地域生活センター 2階 視聴覚室	南区内の小・中学校 白根高校
西区	11月23日(祝) 午後6時30分～午後8時20分 中野小屋連絡所 2階 ホール	小瀬小学校 笠木小学校 中野小屋中学校
東区	11月24日(金) 午後6時30分～午後8時 桃山小学校 3階 多目的教室	桃山小学校
江南区	11月24日(金) 午後6時30分～午後8時 亀田市民会館 1階 講習室A・B	亀田小学校 亀田東小学校 亀田中学校
西蒲区	11月24日(金) 午後7時～午後8時50分 巻地区公民館 3階 小ホール	西蒲区内の小・中学校

※東区会場の傍聴を希望される方は11月22日(水)までに下記へご連絡ください。

【問い合わせ】議会事務局調査法制課 ☎025-226-3385 (直通)

9月定例会の経過

月日	会議名	会議の主な内容
9月12日	本会議	市長提出議案の説明、人事案件に同意
	総務常任委員会	諮問の審査、採決
9月19日	本会議	総務常任委員長による審査結果の報告、採決、一般質問(4人)
9月20日～21日	本会議	一般質問(14人)
9月22日	本会議	一般質問(4人)、市長提出追加議案の説明、決算特別委員会の設置および委員の選任
	決算特別委員会	正副委員長の互選および分科会の設置、分科会正副委員長の互選
9月25日～28日	常任委員会	議案および請願・陳情の審査、採決
9月29日	特別委員会	付議事項の調査・研究
	決算特別委員会	閉会中の継続審査および審査日程を決定
10月3日	本会議	議員提出議案の説明、採決、各常任委員長による審査結果の報告、討論、採決、市長提出追加議案の説明
	総務常任委員会	追加議案の審査、採決
	本会議	総務常任委員長による審査結果の報告、採決

可決された主な議案

■平成29年度一般会計補正予算

◆民間保育士等への追加的処遇改善

民間保育士などに対し、技能・経験に応じ月額4万円などの追加的処遇改善を行うため、6億1,817万1千円を増額補正しました。

◆新潟空港利用活性化促進事業

ハルピン線と台北線の安定運行を図るため、新潟県と共同で航空会社などへの支援を行う経費として1,257万1千円を増額補正しました。

■平成28年度下水道事業会計、水道事業会計、病院事業会計決算状況

平成28年度決算を認定しました。経営状況は次のとおりです。

(単位:円)

	事業収益(A)	事業費用(B)	損益(A)-(B)
下水道事業	34,102,951,037	31,202,458,311	2,900,492,726
水道事業	17,474,134,605	14,587,053,903	2,887,080,702
病院事業	24,580,070,447	24,394,249,963	185,820,484

●次回の定例会のお知らせ 12月定例会は12月4日から12月22日までの19日間の会期で開催の予定です。

強度行動障がい児への支援とヘルプカード、ヘルプマークの普及

松下 和子

(新潟市公明党)

平成26年に実施した強度行動障がい児への実態調査から3年が経過しているが、その後の実態調査は行われているのか。また、さらに進んだ取り組みや新たなグループホームの設置、事業者の拡大は行われているのか。

本年度中に実態調査として緊急支援が必要な対象者を確認する予定である。グループホームの設置や事業者の拡大は事業者や保護者などと連携しながら進めていく。

災害時や緊急時に一番の弱者となる障がい者を1人でも多く助けるため、ヘルプカードの普及は必要なことと考える。本市においても、ヘルプカード、ヘルプマークの普及促進について一歩進めてはどうか。

ヘルプカードなどの普及は、広域で実施する方がより大きな効果を期待できるため、県と協議しながら検討を進めていきたい。

ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害から分々の方、または妊娠初期の方など、外部から見てわかる障害や難病の方、または妊娠初期の方など、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマーク。東京都はヘルプマークが全国に普及し、援助や配慮が必要な人がいることへの気付きや思いやりのある行動を促進することを目的としている。



高齢者のフレイル(虚弱)対策と在宅医療の環境整備

飯塚 孝子

(日本共産党新潟市議会議員団)

本年度から全高齢者を対象とした基本チェックリストの郵送を廃止し、各地域包括支援センター委託に変更したことで閉じこもりやフレイル状態などの高齢者を把握できなくなった。郵送を復活させるなど全高齢者を対象に統一的方法に見直すべきではないか。

各地域での効果的な実態把握の方策を検討するとともに、基本チェックリストの活用について必要な改善に取り組んでいきたい。

在宅療養支援診療所・病院数は政令市最下位レベルであり、後方支援病院は北区、中央区、西区に4病院しかなく全区にはない。地域包括ケアシステムにおける在宅医療の状況について伺う。

訪問診療に対応可能な診療所数は北区8、東区14、中央区37、江南区12、秋葉区8、南区8、西区28、西蒲区16の合計131施設で、政令市のおおむね平均である。

保育園における園児確認の不徹底事案

宇野 耕哉

(民主にいがた)

本年6月に市内の保育園で起きた2歳の園児を公園に一時置き去りにしてしまった件を受けて、事故防止や対応マニュアルを見直したと思われるが、保育園内や保育園周辺での危機管理の見直しした点を伺う。

事故防止および対応マニュアルを新たに作成し、園内外におい

て注意すべき事項や、子どもの月齢や発達に伴う危険など基本的な部分から確認できるようにした。

1件の重大事故の背景には29件の軽微な事故と300件のヒヤリ・ハットがあるというが、今回の件を教訓に、ヒヤリ・ハットの事例を全保育園で共有し、事故防止の意識啓発につなげていく必要があると考えるがどうか。

公立保育園では園長や主任研修で取り上げるとともに、事例について各区園長会議で情報を共有し、各園の職員に伝達している。

本市のまちづくりと空港アクセス

小山 進

(新潟市公明党)

新潟県野球協議会からの「パークボールゲームパークプロジェクト」の提案。要望は、今後の本市のまちづくりの在り方や地域経済の活性化、公益性、公共性の高いまちづくりをも問うものであるが、市長の評価はどうか。

鳥屋野運動公園・小針両野球場は老朽化や周辺環境の変化で大規模な改修が必要とされており、解決に向けた有意な提案・要望と考える。

インフラ整備の効果には、フー効果とともにストック効果がある。空港アクセスという構想を実現するという視点も大事にしなから、あらゆる可能性を排除することなく空港アクセス改善協議会に臨んでほしいがどうか。

空港アクセス改善協議会で年内を目標に方向性が示される見込みだが、アクセス改善で新たな産業誘致や雇用創出ができれば地域経済活性化に効果が出ると思われる。

新潟空港アクセス改善協議会

新潟空港へのアクセス改善に係る新潟県の方針を決定するため、行政、経済界、交通事業者などをメンバーとして、平成29年5月に立ち上げた協議会。さまざまな意見交換をアッシュが長となつて、空港への改善策を新潟市と協議しながら進める。新潟市長委員会の1人は、協議会の委員である。



新潟空港

東京2020大会に本市の銘産品を

栗原 学

(新潟市政クラブ)

東京2020オリンピック・パラリンピックの表彰式では、メダルリストへ副賞が贈呈される。各地で銘産品を副賞に採用するよう大会組織委員会へ働き掛けが行われており、糸魚川市でもヒスイをメダルに採用するよう活動している。本市の食と花の銘産品は採用されるにふさわしいものであり、生産者の意欲向上と産地ブランドのPR、地域活性化につながるため、本市主導で産学官連携の検討会を立ち上げ、採用に向けた攻めの活動を行うべきと考えるが。

本市の食と花の銘産品であるチューリップやアザレアをピクトリーブーケや会場装飾として、また農産物は引き続き調達基準であるGAP取得を支援し、選手村などで活用されるように、生産者や関係団体と連携し、大会組織委員会に働き掛けていく。

市役所本庁舎の一大再編と行政運営の改革

小泉 伸之

(会派に属さない議員)

BRTで古町は大変厳しい状況になった。その借りを100億円以上の税金を投入し市役所機能の半分を古町に移転する施策で返している。本来、まちづくり戦略があつて庁舎移転のはずだが、それがない。早急に中心市街地再生と市全体の活力創造を運動させたまちづくり計画を策定すべきでは。

本年3月に策定した「新潟市立地適正化計画」の中で古町地区を都市回帰モデルとしての機能強化を図るエリアに位置付けており、真のにぎわい回復を目指していく。

政策に対する市の自己評価は目標を達成しているが市民生活の向上につながっていない。現行のPDCAを中心とした運営手法に問題が多いため改革すべきでは。

PDCAサイクルなどのマネジメントプロセスについては、時代の要請に応じて変えていかなければいけないと思っている。

子ども議会のご案内

「子ども議会」は、市議会の議場を利用して、児童・生徒が議員となって学校生活の問題などを議論することにより、市議会・市政に関心を持ってもらうために実施しています。

対象は、市内の小学校3年生から中学校3年生の学級単位などの団体です。

希望日の1カ月前までに下記へご連絡ください。(本会議開催日など、ご希望に沿えないことがあります。)



子ども議会の様子

【問い合わせ】
議会事務局総務課
☎025-226-3375 (直通)

常任委員会行政視察

下記のとおり行政視察を行いました。報告書は市議会ホームページに掲載する他、市政情報室(市役所本館1階)および市立図書館に配置する予定です。

総務常任委員会

期日 8月7日~9日

視察先・調査事項

《静岡市》

・市役所本庁機能の分離状況について

《神戸市》

・市民サービス業務プロセス標準化・再構築事業について

《さいたま市》

・さいたま市における公民連携の取り組みについて

常任委員長報告の要旨

9月19日および10月3日の本会議で行われた各常任委員長報告の要旨です。

総務
 ●地方自治法第206条の規定に基づく審査請求に関する諮問
 今回の酒気帯び運転に対する処分は妥当と考える。
 今後は教職員に対して、さらなる指導の徹底を図りたい。
 取り扱いの判断が明確でない部分があることから、今後は具体的なケースを想定し、指導の中に組み入れるべきである。

●訴えの提起
 毎年、徴収率が上がっていることを評価する。
 専門人材の採用などスタッフの充実を図るとともに、職員のスキル向上、ノウハウの共有に努められたい。債権管理課につなぐ前に所管課でより丁寧な対応ができないか、これまで以上に庁内の連携を密にし、解決に努められたい。
 また訴えの提起に至るまでの期間や接触回数、対応時の状況把握などに一定の指針を設けるべきである。一定の金額以下などの基準を満たしていれば、説明を簡素化するなど、議会への報告や議決の在り方について検討されたい。

文教経済
 ●平成29年度新潟市一般会計補正予算関係部分
 新潟空港利用活性化促進事業について、交流人口の拡大に向け、県と連携し、搭乗率の向上など恒常的な空港利用者の拡大につなげられたい。近県や首都圏のニーズを獲得するため、新幹線

など鉄道による空港アクセスの抜本的改善に早急に動き出すべきである。

●新潟市工場立地法に基づく緑地面積率等に関する準則を定める条例の制定
 緑地面積率等の緩和に伴い、新たな企業進出や土地の有効活用による設備投資が促進され、市内産業が活性化することを期待する。効果を最大限引き出すため、制度の周知を徹底されたい。
 企業に対しては、排水対策など周辺の環境に十分配慮するよう指導し、市民に環境面の影響について合理的に説明する責務を果たすべきである。

●平成29年度新潟市一般会計補正予算関係部分
 保育士などの処遇改善について、キャリアに合わせた処遇改善が行われるよう、支援・指導を怠らないよう求める。
 今後も待遇および社会的な評価を上げるべく取り組み、子育て環境のさらなる充実に努められたい。

●平成29年度新潟市一般会計補正予算関係部分
 凍結部分の整備については、事業中止を求める。
 ●新潟市営住宅条例の一部改正
 单身世帯の同居要件が緩和されたことを評価する。
 今後は、速やかに広報するとともに効果を検証し、効果的な取り組みにより市営住宅の有効活用を図られたい。

●平成29年度新潟市一般会計補正予算関係部分
 水道局について、今後、給水人口の減少や管路更新など、より経営が厳しくなるが、水道料金単価の維持、水道料金収入の確保に努められたい。

●障がい者手帳を持たない軽・中等度難聴児への補聴システム購入費助成を求めることについての陳情
 補聴システムは、難聴児の成長に大変有効である。難聴児の「聞こえ」の環境を整え、育ちと学びを保障する積極的な対応を求める。

●障がい者手帳を持たない軽・中等度難聴児への補聴システム購入費助成を求めることについての陳情
 補聴システムは、難聴児の成長に大変有効である。難聴児の「聞こえ」の環境を整え、育ちと学びを保障する積極的な対応を求める。

●障がい者手帳を持たない軽・中等度難聴児への補聴システム購入費助成を求めることについての陳情
 補聴システムは、難聴児の成長に大変有効である。難聴児の「聞こえ」の環境を整え、育ちと学びを保障する積極的な対応を求める。

決算特別委員会

■決算特別委員会は決算関係の議案を認定すべきかどうかについてを審査するために設置する特別委員会です。
 9月22日の本会議において、平成28年度の一般会計および特別会計の歳入歳出決算の認定議案が市長より追加提案されました。市議会では決算特別委員会を設置し、委員48人(議長および監査委員2人を除く議員で構成)を選任、4つの分科会に分かれ予算の執行状況や成果について審査を行いました。
 10月17日の委員会で各分科会の委員長報告、意見・要望を行い、採決の結果、賛成多数をもって決算を認定すべきものと決定しました。
 なお、この委員会での審査の経過および結果については、直近の本会議で報告し、採決する予定です。



決算特別委員会の様子

開催日時	主な内容	出席者
9月22日	決算特別委員会設置および委員の選任 正副委員長の互選および分科会の設置 各分科会正副委員長互選	【本会議】 【決算特別委員会】 【各分科会】
9月29日	閉会中の継続審査、審査日程を決定	【決算特別委員会】
10月3日	閉会中の継続審査を決定	【本会議】
10月5日	決算の総括説明(副市長) 決算審査意見書の概要説明(代表監査委員) 副市長・教育長説明	【決算特別委員会】
10月6日~12日	所管事項の審査	【各分科会】
10月13日	意見集約	【各分科会】
10月17日	各分科会委員長報告、意見・要望、採決	【決算特別委員会】

決算特別委員会名簿

委員長 高橋 三義 副委員長 金子 孝 ◎…分科会委員長 ○…分科会副委員長

- 第1分科会(12人)**
 (総務常任委員会所管分を審査)
- ◎ 内山 則男 佐藤 正人
 - 内山 航 野本 孝子
 - 古泉 幸一 渡辺 和光
 - 吉田 孝志 金子 孝
 - 高橋 三義 小山 進
 - 佐藤 耕一 青野 寛一

- 第2分科会(12人)**
 (文教経済常任委員会所管分を審査)
- ◎ 水澤 仁 平 あや子
 - 宇野 耕哉 小柳 聡
 - 平松 洋一 串田 修平
 - 荒井 宏幸 松下 和子
 - 渡辺 仁 青木 学
 - 渡辺 均 小泉 仲之

- 第3分科会(12人)**
 (市民厚生常任委員会所管分を審査)
- ◎ 飯塚 孝子 倉茂 政樹
 - 伊藤健太郎 南 まゆみ
 - 山田 洋子 佐藤 豊美
 - 阿部 松雄 志賀 泰雄
 - 小野清一郎 石附 幸子
 - 志田 常佳 中山 均

- 第4分科会(12人)**
 (環境建設常任委員会所管分を審査)
- ◎ 佐藤 誠 五十嵐完二
 - 高橋 哲也 山際 務
 - 佐藤 幸雄 金子 益夫
 - 皆川 英二 栗原 学
 - 田辺 新 竹内 功
 - 田村 要介 深谷 成信

■ 議案とその結果 ■

【市長提出】

議案番号	件名	結果
第74号	平成29年度新潟市一般会計補正予算	可決
第75号	平成29年度新潟市国民健康保険事業会計補正予算	可決
第76号	平成29年度新潟市介護保険事業会計補正予算	可決
第77号	平成29年度新潟市公債管理事業会計補正予算	可決
第78号	平成29年度新潟市後期高齢者医療事業会計補正予算	可決
第79号	新潟市認定こども園条例の制定について	可決
第80号	新潟市工場立地法に基づく緑地面積率等に関する準則を定める条例の制定について	可決
第81号	新潟市大畑少年センター条例の廃止について	可決
第82号	新潟市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正について	可決
第83号	新潟市営住宅条例の一部改正について	可決
第84号	新潟市と燕市の境界変更の申請について[県営ほ場整備事業に伴い、新潟市と燕市の境界変更を新潟県知事に申請するもの]	可決
第85号	町(字)の区域及び名称の変更について	可決
第86号	市道路線の認定及び廃止について	可決
第87号	訴えの提起について[生活保護費返還金等の長期滞納者に対し、支払を求めるもの]	可決
第88号	訴えの提起について[市営住宅使用料長期滞納者に対し、市営住宅の明渡しを求めるもの]	可決
第89号	調停の申立てについて[市営住宅使用料長期滞納者に対し、調停を申し立てるもの]	可決
第90号	監査委員の選任について[任期満了に伴うもの1名]	同意
第91号	固定資産評価審査委員会委員の選任について[任期満了に伴うもの1名]	承認および同意
第92号	未処分利益剰余金の処分について[下水道事業について利益を処分するもの]	可決
第93号	未処分利益剰余金の処分について[水道事業について利益を処分するもの]	可決
第94号	決算の認定について[平成28年度下水道事業会計、水道事業会計、病院事業会計決算]	認定
第95号	決算の認定について[平成28年度新潟市一般会計及び8特別会計]	継続審査
第96号	平成29年度新潟市一般会計補正予算[衆議院議員選挙等に要する経費を補正するもの]	可決
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について[任期満了に伴うもの1名・辞任に伴うもの1名]	同意
諮問第4号	地方自治法第206条の規定に基づく審査請求に関する諮問について[退職手当支給制限処分に係る審査請求について議会の意見を問うもの]	棄却すべきである

【議員提出】

議案番号	件名	結果
第42号	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律のかさ上げ措置に関する意見書の提出について	可決
第43号	大規模災害時の法制度に関する抜本的な見直しを求める意見書の提出について	可決
第44号	北朝鮮による核実験及びミサイル発射に対し厳重に抗議する決議について	可決
第45号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について	可決
第46号	学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の提出について	可決

請願・陳情の審査結果

▼採択
●陳情第143号
全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について

●陳情第144号
学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書の提出について

●陳情第146号
障がい者手帳を持たない軽・中等度難聴児への補聴システム購入費助成を求めるところについて

▼不採択
●請願第12号
所得税法第56条廃止を求める意見書の提出について

●請願第13号
憲法第9条を守ることを求める意見書の提出について

●陳情第108号
バスダイヤ変更の取り組み等について
(第1項および第2項)

●陳情第148号
農業者経営所得安定対策における米の直接支払交付金の継続、充実を求める意見書の提出について

人事案件

▼監査委員
伊藤 秀夫さん

▼固定資産評価審査委員会委員
本間 禎子さん

▼人権擁護委員候補者
池田 恒子さん
富田 洋子さん

姉妹都市との交流

■ロシア・ピロビジャン市訪問(9月5日から10日まで)

本市の姉妹都市であるロシア・ピロビジャン市の市制施行80周年記念行事に出席するため、阿部松雄副議長をはじめとする議員3人が、新潟市代表団の一員として同市を訪問しました。

平成17年の合併により旧豊栄市との姉妹都市関係を引き継いだ新潟市は、毎夏、ピロビジャン市との間で青少年使節団の相互派遣を実施しています。同市のコロステリョフ市長を表敬し、市制80周年を祝うとともに、市議会としても両市における姉妹都市交流の発展に協力していくことを伝えました。

記念の祝賀行事では、文化団として同行した新潟清心女子高校ダンス部の躍動感あふれるダンスがステージを盛り上げ、両市の相互理解を一層深める機会となりました。



ピロビジャン市長(前列中央)を表敬

市政調査会研修会

市議会では議会の情報・調査活動を活性化するため、全議員で構成する「市政調査会」を設置し、研修会を開催しています。

今年度の第1回目の研修会は9月29日に開催し、「公契約条例」をテーマに、元日本大学商学部教授の永山利和氏を講師にお迎えし、「公契約条例制定の意義と現状—国と地方における政策を踏まえて—」と題して講演いただきました。

講演では、公契約において適正な入札などの手続きを実施し、労働者の適正な労働条件を確保、事業者の経営環境の改善を図ることなどを目的とする東京都世田谷区の公契約条例制定に関わられた経験から、世田谷区や全国の公契約条例の内容紹介、条例制定後、どのように行政や関係する民間組織の改善を進めるかなどの課題について解説をいただきました。



講演中の永山利和氏